

### 桐大の2サークル、合同でボランティア

## 介護施設のお年寄りに 手作りおやつ振る舞う



桐生大学の食育研究サークル(佐藤悠紀部長)とボランティアサークル(山崎千里部

長が15日、桐生市相生町二丁目の介護施設「桐生ケアセンター」を訪れ、手作り

おやつ「酒粕(さけかす)のパンケーキ」をふるまい、お年寄りととの交流を深めた。

「合同ティータイムボランティア活動」として今年2回目となる取り組み。同大学医療保健学部栄養学科2、3年生のサークルメンバー20人がメニューを考案し、10回以上もの試作を重ねておいしいおやつを完成させた。

栄養価の高い酒粕を生地混ぜ込んだパンケーキは、「もちもちした食感を楽しめ、お年寄りが飲み込みやすいように水分量などを

お年寄りたちにふるまう「酒粕のパンケーキ」を手作りする学生たち(桐生ケアセンターそよ風で)………

工夫した」と佐藤さん。イチゴやミカンなどをトッピングして見た目にも鮮やかに仕上げた。調理中には「代謝がよくなる」「肌や髪の毛が元気になるピ

タミンB<sub>6</sub>を多く含む」など酒粕の効果を解説するひと幕も。ふわりと酒粕の風味が香る口あたりのよいパンケーキに、「おいしいだねえ」「おいしい

いねえ」と笑みをこぼすお年寄り。佐藤さんは「おいしく食べてもらえてほっとした」とサークルメンバーたちと笑い合った。